

8月5日(金)
普通 16:37 乗車
至糸魚川
信濃大町
大糸線
17:36 着
持きのなつ
松本
中央西線
20:17 着
名古屋

バス 16:33 分着
標高約 730M

途中バスは大町
温泉へ寄っていく。

至種池小屋
鹿島槍ヶ岳へ

8月3日～5日 近折立平から
3日間の山行きも終つた。
平日と風情情報が入
っていた為、山は静かだ
った。特に高天原は
献立も上等で温泉もあり
懐かしい思い出となろう。
山へ行つて平の渡し船に
乗ったこと、雲ノ平からの
薬師、水晶、黒部五郎
岳の姿は素晴らしい。

岩小屋沢岳
2630.3M

至種池小屋

新越来越

鳴沢岳
2641M

赤沢岳
2677.8M

扇沢

針ノ木峠はその昔、天正12年(1584年)
越中(富山)の城主、佐々成政の行
100名近い大部隊が積雪を越え、この
時埋めたと言われ、黄金の壺のありか
をめぐり伝説で有名になり、その名
を取った針ノ木峠からは、北アルプスの全
容が望まれる。北正面にはスバリ岳の
厳しいヤセ尾根に続く稜線と鹿島
槍ヶ岳。左はドラシラした剣ヶ岳、高くそび
え立山連峰。左は五色ヶ原の美しい
眺め。薬師に赤牛、槍ヶ岳と見える。
南は起伏の大きい険しい北葛～
七倉～不動岳と続き、眼下は黒部
湖が青々と水をたたえて光っている。

「山を想ふ人恋し
人を想ふ山恋し」と
詠んだ百瀬貞太郎氏の
レリーフ

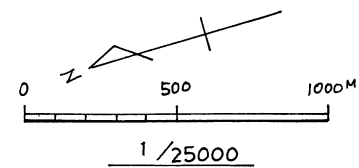
大沢小屋に着いたとたん
雷雨となり、小屋に入
つて休憩すること
30分で小止になり出発

雪渓の割れ目から
の風が涼しい。
雪渓は右へ入る
曲がりくねる
いよいよ天気が悪くなり
ガスが流れ、ポンコツ雨
が
当りようになる。

針ノ木峠～針ノ木岳

針ノ木峠より小屋裏のテント場を過ぎ、急登のガレ道を
枝に掴ってよじ登ると11:23 頂上が見える。
平坦路を行くと11:26 雪田とテント場があり、学生で賑
合っている。急な斜面から左上稜線の凄々岩峰を
仰ぎながら石ヶ礫のジグザグ路を→印に従って登り
きると尾根へ出る。一望して信州側を登ること6分
で頂上に立つ。頂上少し手前に縦走路分岐がある。

斜面の急坂の登りはきついが
赤牛岳、槍ヶ岳を望み、トリカブト、
シナキンバイ、その他ヒメツ、白黄と多
くの花が咲き乱れ、ウグイスのさえず
りも又楽しい。峠の小屋も見えぞ。



最後の水場を過ぎ左岸へ。ケルン
より右岸沿いの左上の小径に登り。
9:34 沢の塊石の上を、時々左の
小径に入つてはケルンに訪ねて
登る。灰青色、赤紫色の石が印象
的だ。全く静かな初夏の感じで
桃を食べながら10分休憩。気温22℃
丁度良い温度だ。気分爽快……

蓮華岳
2798.7M

コースタイム 150分 ↔ 140分

北葛岳
2551M

針ノ木峠
2541M

針ノ木小屋
2541M

針ノ木岳
2820.6M

スバリ岳
2740M

針ノ木岳
2820.6M

針ノ木岳
2820.6M

針ノ木岳
2820.6M

針ノ木岳
2820.6M

針ノ木岳
2820.6M

針ノ木岳
2820.6M